

# 取扱補足説明書

DAYTONA corp.

R94453 ①/⑧

\*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*取扱説明書（GIVI オリジナル）と本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書（GIVI オリジナル）と本書も併せてお渡しください。

 PL1144CAM パニアホルダー	適応車種／適応商品	商品NO.
	CRF1000L Africa Twin/DCT (16) *OBK サイドケース専用	94453


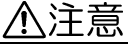
## ■本書は GIVI オリジナル取扱説明書を補足するものです■




※ この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認ください。本書記載の内容を守らずに取り付け・取り扱いしたことにより発生した不具合や事故損害は、如何なる場合でも保証対象外であり、当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## ■ご使用前に必ず、ご確認ください■


※ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取り扱い方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	禁止の行為であることを告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。表記の注意を告げるものです。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

## 警告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>この商品は車種専用用品です。<u>記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。</u></li> <li>この商品は GIVI OBK サイドケース（別売り）専用用品です。<u>推奨とは異なるケースや GIVI 社以外のケースには使用しないでください（何れも保証対象外）。</u></li> <li>この商品の指定最大積載重量（1 サイドケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は片側 10kg です。<u>指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。</u>操舵性を考慮して、当社では総重量 3kg 以下での走行使用をオススメします。</li> <li><u>この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。</u>破損や変形、脱落など予期せぬ不具合の原因となります。</li> <li>法定速度を必ず遵守することを前提に、いかなる場合でも <u>100km/h を超える状態での走行使用は行なわないでください。</u>操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。</li> <li><u>オフロードなど悪路での走行使用は行なわないでください。</u>破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。</li> </ul>
---	--


**注意**


実施

- ・ 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
- ・ エンジンやマフラーなどが十分に冷えている状態で、安定した平らな場所を選んでメインスタンドなどを使用し、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで作業してください。また、作業が終了するまではエンジン始動や走行使用を不用意に行なわないでください。
- ・ 個体差により組み付けクリアランスが狭い（狭くなる）箇所へは、必ずあらかじめ保護テープなどを貼り付けてから作業を行なってください。
- ・ 作業中取り外した純正部品の破損・紛失には十分留意してください。また、各部ねじが緩みにくい場合は浸透潤滑油などを適宜使用してください。無理に緩めようとするとう部品破損の原因となります。
- ・ 商品付属ねじの規定トルクは M6 : 10N・m、M8 : 20N・m です。ねじ緩み止め剤の併用をオススメします。純正部品につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各部規定トルクで確実に締め付けてください。これら締め付けが不適切だと部品破損・脱落の原因となります。
- ・ 各部品は必ず一旦仮締めとし、車体への組付状態を十分確認し、位置決めしてから本締めしてください。車両の製造方法と製品個体差、車両組付個体差により、車両へのフィット感や組付クリアランスはお手元の商品程度となります。程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・ この商品にサイドケースを取り付け走行使用すると、車両の重量増加や重心変化、空気抵抗増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能などが悪化します。慣れるまでは十分慣らし運転を行なってください。このような変化はタイヤの磨耗や空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのベアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に各部を点検整備し、安全に走行使用してください。
- ・ 取り付け後約 100km 走行しましたら必ず各部を点検整備し、ボルト類の増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に定期点検整備を行ない、同様にボルト類の増し締めを行なってください。これら作業を怠ると部品破損など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。



その他

- ・ この商品は記載された適応車種のノーマル車体（無事故車）にて取り付け確認を行っております。立ちゴケや転倒などでダメージを負った車体はもちろん、別途付加された純正アクセサリ類や他社製品、加工部品などとの組み合わせは未確認（保証対象外）につき、如何なる不具合や事故損害が発生したとしても当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ パッケージ開梱時やその後の商品取り付け・取り扱い時に、パッケージや構成部品（端面や突起部、バリなど）で予期せぬ怪我や事故（保証対象外）が発生する場合があります。事前に十分ご注意ください。
- ・ この商品および指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化（サビ含む）が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備（汚れや水分、塩分などがたまりやすい箇所や金属溶接部周辺などは特に念入りに行ない、異常があれば適宜新品交換）を行なってください。素材の経年変化や使用損耗より発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。溶接や塗装、小傷、歪みなど、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないません。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。
- ・ この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

## 本商品の特徴

- 適応車種専用設計の GIVI CAM パニアホルダー。OBK サイドケース（別売り）専用。本品単独車体装着、ならびに GIVI SR1144（別売り）でのトリプル車体装着（OBK サイドケース+トップケース）が可能。純正グラブレールキャリア/リアフェンダー/マフラー/タンデムステップホルダー専用。
- 純正マッドガードへの穴開け加工が必要。
- 指定最大積載重量（1 サイドケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は片側 10kg（※）。

※. 各ケースの種別や詳細、最新情報は GIVI 専用ホームページ <http://www.givi-jp.com> にてご確認ください。

※. 指定とは異なるベース（モノロックケース付属の汎用ベースなど）や GIVI 社以外のベースは本品に使用しないでください。

※. 指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。操舵性を考慮して、当社ではモノキーケースであっても総重量 3kg 以下での走行使用をオススメします。

## 商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	パニアホルダー（左右）		各 1	⑪	スペーサー	φ20×φ16×50L	2
②	サポート		1	⑫	スペーサー（厚）	φ18×φ8.5×23L	1
③	リアブリッジ		1	⑬	平ワッシャ	M8用(外径14)	2
④	サポート（左右）		各 1	⑭	フランジ付きナイロンロックナット	M8用	5
⑤	サポート		1	⑮	サポート（厚/左右）	前側用	各 1
⑥	フランジ付き六角ボルト	M8×40	4	⑯	サポート（薄/左右）	後側用	各 1
⑦	フランジ付き六角ボルト	M8×20	4	⑰	純正部品		
⑧	六角ボルト	M8×85	2	⑱	取扱説明書 (PL1144CAM)		1
⑨	スペーサー（薄）	φ18×φ8.5×5L	2	⑲	取扱補足説明書（本書）		1
⑩	スペーサー（中）	φ18×φ8.5×9L	2	⑳	保証書		1

※. 車両に組み付ける前に、必ず各部品の構成（種別や入数、寸法、外観など）や作業内容を十分ご確認ください。

※. ⑰部品は純正部品です。本品には付属していません。

## 指定同時装着品（OBK サイドケース：別売り）

パーツ名	GIVI 部番/仕上げ	デイトナ品番	税抜価格
OBK アルミサイドケース (片側 37L/左右セット)	OBK37A PACK2 (アルミ素地)	79530	¥94,000
	OBK37B PACK2 ブラックライン (アルミ黒塗装)	79665	¥100,000
OBK アルミサイドケース (片側 48L/左右セット)	OBK48A PACK2 (アルミ素地)	79662	¥102,000
	OBK48B PACK2 ブラックライン (アルミ黒塗装)	79668	¥108,000

※. 各ケースの種別や詳細、最新情報は GIVI 専用ホームページ <http://www.givi-jp.com> にてご確認ください。

## 取り付け方法

※. 記載の手順は HONDA・CRF1000L Africa Twin DCT (16) をもとに当社で検討した内容につき、純正部品の脱着方法などの詳細につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルにてご確認ください。

※. エンジンやマフラーなどが十分に冷えている状態で、安定した平らな場所を選んでメインスタンドなどを使用し、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで作業してください。また、作業が終了するまではエンジン始動や走行使用を不用意に行なわないでください。

※. 商品付属ねじの規定トルクは M6: 10N・m、M8: 20N・m です。ねじ緩み止め剤の併用をオススメします。純正部品につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各部規定トルクで確実に締め付けてください

※. 各部品は必ず一旦仮締めとし、車体への組付状態を十分確認し、位置決めしてから本締めしてください。

1. キー操作にて純正ライダーシートを車体から取り外します。
2. 内部より純正ボルト (2 ヶ) を外し、純正タンデムシートを車体から外します。
3. 純正ボルト (左右各 2 ヶ) を外し、純正タンデムステップホルダー (左右) と内側のワッシャ (左右各 2 ヶ) を車体から取り外します。
4. 純正シートカウル左側に設けられた純正パニアケース懸架部の前穴に⑮サポート (厚/左前側用) を、後穴に⑯サポート (薄/左後側用) と④サポート (左) を仮組みします。(図 1 参照)

※. ⑮/⑯サポートは前後左右の形状の違い、ならびに組み付け向きに指定があります。前後左右の形状の違いはサポートの厚みと底面の刻印 (F-LH、R-LH) にて、組み付け向きは穴底に設けられた水抜き穴が車体進行方向側となる向きにて判別してください。

※. 図 1~2 を参考に、④サポートの左右の形状の違いと組み付け向きを判別してください。

5. ①パニアホルダー (左) を手に取り、脱落しない程度にボルトを緩め、上部前側ステー (⑮サポート穴に挿入する部分) をフリーの状態にします。(図 2 矢印箇所参照)
6. ①パニアホルダー (左) の上部後側ねじ部先端の保護キャップを外し、⑫スペーサー (厚) を挿入したうえで、脱落や傷付きに十分注意しながら、手順 4 で組み付けた⑮サポート (厚/左前側用) と④サポート (左) に①パニアホルダー (左) の上部前後を仮組みします。(図 2 参照)

※. この手順 6 の段階では、組み付けた各部品が脱落しやすい状態につき、誤って部品や車体を傷付けないよう十分注意しながら作業を行なってください。

※. また、この手順 4~6 の段階では、各部品は必ず仮組みとしてください。早計に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

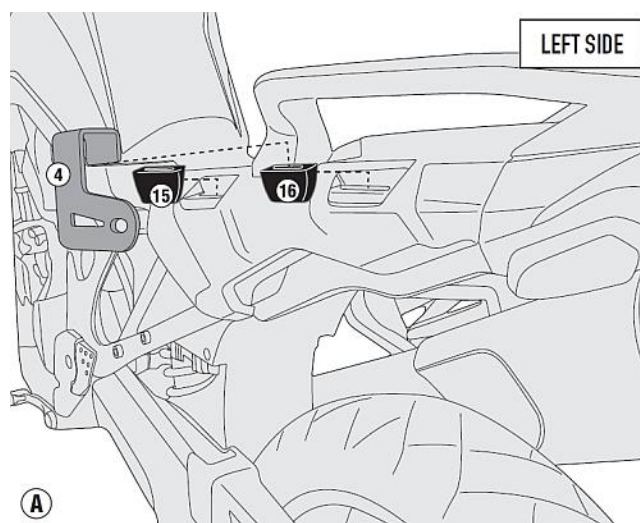


図 1

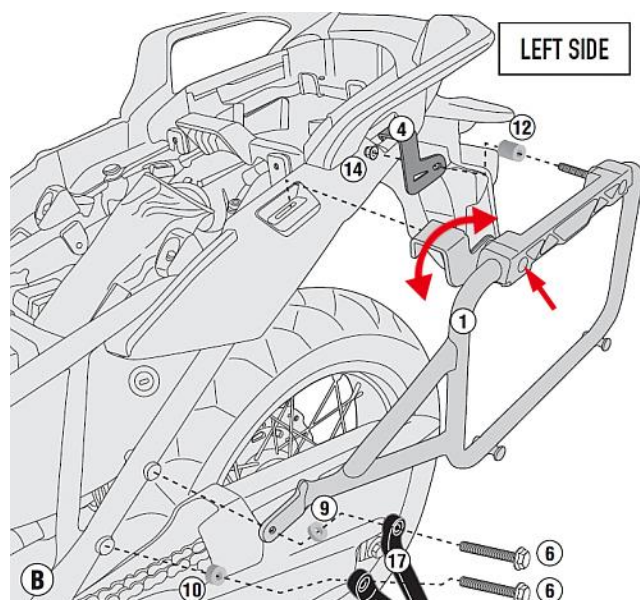


図 2

7. 引き続き脱落や傷付きに十分注意しながら、純正タンデムステップホルダー（左）の後側取り付け穴部に①パニアホルダー（左）の車体進行方向側ステーをあてがい、⑥フランジ付き六角ボルト（2ヶ）と⑩/⑨スペーサー（各1ヶ）、適宜純正ワッシャ（2ヶ）を使用して、純正タンデムステップホルダー（左）と一緒に車体に仮組みします。（図2参照）

※. この手順7の段階では、組み付けた各部品が脱落しやすい状態につき、誤って部品や車体を傷付けないよう十分注意しながら作業を行ってください。

※. 個体差により、純正タンデムステップホルダー後側と①パニアホルダーの車体進行方向側ステーが接触する場合があります。その場合は純正タンデムステップホルダーと⑩/⑨スペーサーとの間に、手順3で取り外した純正ワッシャ（2ヶ）を適宜挿入して組み付けてください。

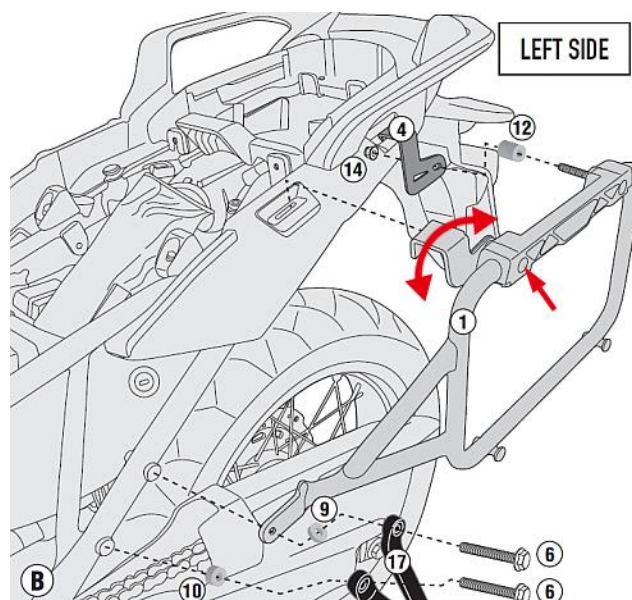


図2  
＜前ページより重複掲載＞

8. 純正シートカウル右側に設けられた純正パニアケース懸架部の前穴に⑬サポート（厚/右前側用）を、後穴に⑭サポート（薄/右後側用）と④サポート（右）を仮組みします。（図3参照）

※. ⑬/⑭サポートは前後左右の形状の違い、ならびに組み付け向き指定があります。前後左右の形状の違いはサポートの厚みと底面の刻印（F-RH、R-RH）にて、組み付け向きは穴底に設けられた水抜き穴が車体進行方向側となる向きにて判別してください。

※. 図3を参考に、④サポートの左右の形状の違いと組み付け向きを判別してください。

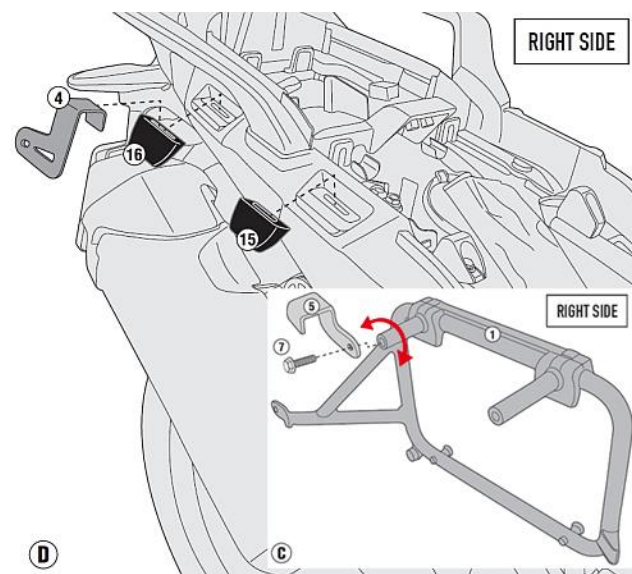


図3

9. ⑦フランジ付き六角ボルト（1ヶ）を使用して、①パニアホルダー（右）の上部前側ステー部に⑤サポートを仮組みします。（図3矢印箇所参照）
10. 手順6と同様の手順で、脱落や傷付きに十分注意しながら、手順8で組み付けた⑬サポート（厚/右前側用）に①パニアホルダー（右）の上部前側（⑤ステー部）を仮組みします。（図4参照）
11. 引き続き脱落や傷付きに十分注意しながら、手順7と同様の手順で、純正タンデムステップホルダー（右）と一緒に①パニアホルダー（右）を車体に仮組みします。（図4参照）

※. この手順10~11の段階では、組み付けた各部品が脱落しやすい状態につき、誤って部品や車体を傷付けないよう十分注意しながら作業を行ってください。

※. 個体差により、純正タンデムステップホルダー後側と①パニアホルダーの車体進行方向側ステーが接触する場合があります。その場合は純正タンデムステップホルダーと⑩/⑨スペーサーとの間に、手順3で取り外した純正ワッシャ（2ヶ）を適宜挿入して組み付けてください。

※. この手順7~11の段階では、各部品は必ず仮組みとしてください。早計に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

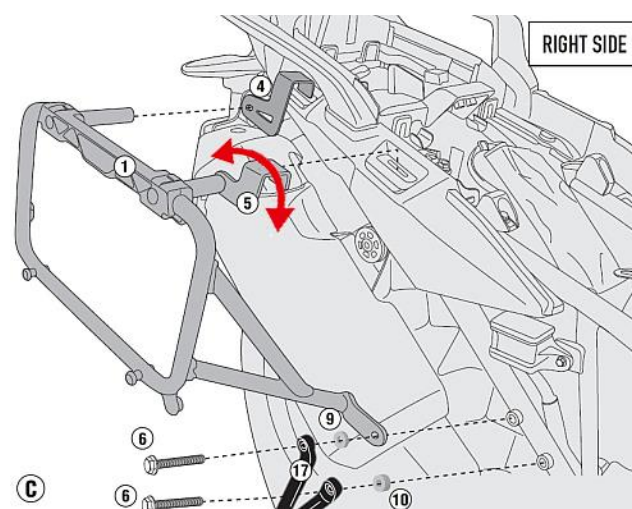


図4

12. 手順 2 で取り外した純正タンデムシート後側に位置する車体内部より、純正マッドガードを固定している純正ボルト (2 ヶ) と段付きカラー (2 ヶ) を取り外します。(図 5 参照)

13. 純正ねじ山や内部の純正ハーネスなどを破損させないように十分注意しながら、手順 12 で取り外した純正ボルト/段付きカラー取り付け部のねじ穴 (2 箇所) に切っ先の長いポンチ錐<キリ>などの先端を挿入し、穴の中心に位置する純正マッドガード部に車体内側から下穴を開けます。(図 5 参照)

※. 下穴の目安はφ5.0 以下です。

※. 以降の作業で最終仕上げ穴 (φ20 目安) を開ける位置目安となれば良いため、この手順 13 の段階ではφ5.0 よりも大きい穴を開ける必要はありません。

※. 適切でない工具の使用や目安よりも大きな下穴を開ける行為は、純正ボルト/段付きカラー取り付け部のねじ山 (M8) や内部の純正ハーネスなどを破損させる原因となります。十分注意してください。

※. この作業を行なうことにより生じた不具合、不利益は一切保証対象外です。

14. 脱落や傷付きに十分注意しながら、左側に⑭フランジ付きナイロンロックナット (1 ヶ) を、右側に⑦フランジ付き六角ボルト (1 ヶ) を使用して、①パニアホルダー (左右) と④サポート (左右) の内側に②サポートを仮組みします (図 6 参照)

※. 図 6 を参考に、②サポートの組み付け向きを判別してください。

15. ②サポートを下から支えながら純正マッドガードに十分近づけ、下側より②サポートの穴部を真っすぐ覗き見て、手順 13 で開けた下穴が②サポートの穴部の中心から上下左右にズれていないかどうか十分確認します。(図 6 参照)

※. 穴位置のズレが大きい場合は手順 13 の作業を見直し、仕上げ穴を開ける前に下穴位置を適切に修正してください。この作業を怠ると以降の作業に支障をきたします。

16. 穴位置に問題がなければ、手順 14 とは逆の手順で②サポートを一旦取り外し、車体外側から純正マッドガード部に 2 箇所穴を開け、開口部のバリを取り除きます。(図 6 参照)

※. 穴の仕上がり目安は 2 箇所ともφ20 です。

※. 最初は仕上がり目安 (φ20) よりも小さい穴を開け、車体内側より⑧六角ボルト (2 ヶ) を仮組みし、②サポートの穴部にボルトが負荷なく真っ直ぐに組み付けられるかどうか適宜確認しながら、最終的に⑧六角ボルトと⑩スペーサー、②サポート、⑭フランジ付きナイロンロックナットの組み付けに支障がでない大きさ (φ20 目安) まで穴を広げてください。(図 6~7 参照)

※. この作業を行なうことにより生じた不具合、不利益は一切保証対象外です。

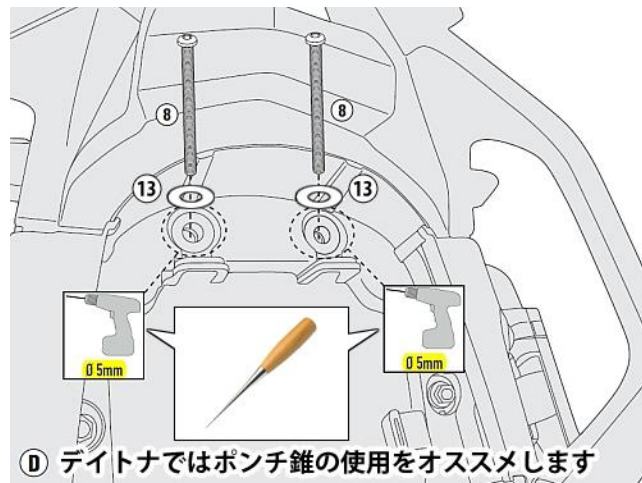


図 5

\* 下穴は車体内側から開けます。作業の際、純正ボルト/段付きカラー取り付け部のねじ山 (M8) や内部の純正ハーネスなどを破損させないように十分注意してください。

\* この手順 13 の段階で開ける下穴は、以降の作業で最終仕上げ穴 (φ20 目安) を開ける位置目安となれば良いため、GIVI 取扱説明書にはドリルの絵図が描かれていますが、ティटनाでは切っ先の長いポンチ錐<キリ>などを使用した作業をオススメします。

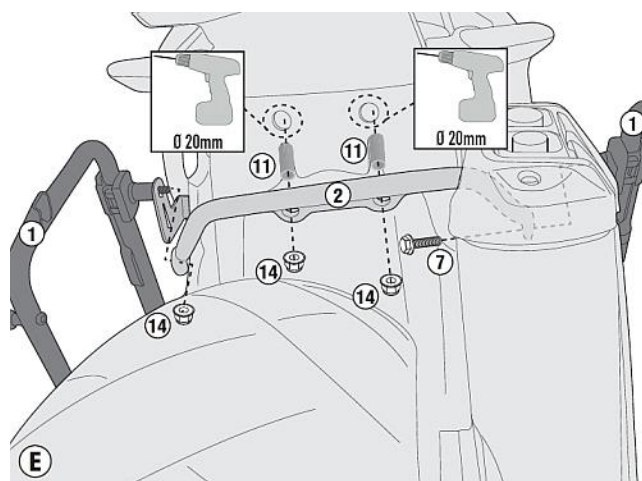


図 6

\* 純正ボルト/段付きカラー取り付け部の車体ステーと純正マッドガードの樹脂面は並行ではありません。手順 15 にて確認した際に穴位置のズレが大きい場合は、手順 13 の作業を見直し、仕上げ穴を開ける前に下穴位置を適切に修正してください。この作業を怠ると以降の作業に支障をきたします。

\* 最終仕上げ穴は車体外側から開けます。作業の際、車体内部の他の部品や純正ハーネスなどを破損させないように十分注意してください。

17. 手順 14 と同じ手順で①パニアホルダー（左右）と④サポート（左右）の内側に②サポートを再び仮組みし、車体内側より⑧六角ボルト（2ヶ）と⑬平ワッシャ（2ヶ）を、車体外側より⑪スペーサー（2ヶ）と⑭フランジ付きナイロンロックナット（2ヶ）を使用して、これら全ての部品を仮組みします。（図 5～6 参照）

※. 車体外側より⑪スペーサーを組み付ける際、純正ボルト/段付きカラー取り付け面（⑧六角ボルトと⑬平ワッシャ取り付け部の車体ステー）の内側にある溶接ナットをカラーの穴に必ず入れてください。溶接ナットがカラーの穴に入らない（または入りにくい）場合は、手順 16 の作業を見直し、仕上げ穴位置を適切に修正してください。この作業を怠ると以降の作業に支障をきたします。

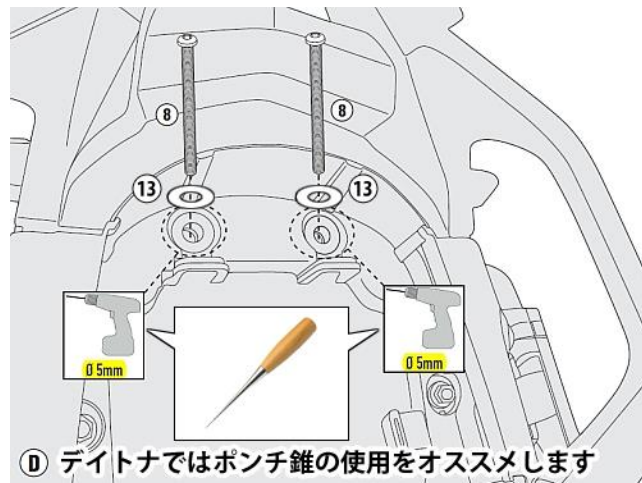


図 5

&lt;前ページより重複掲載&gt;

18. ⑦フランジ付き六角ボルト（2ヶ）と⑭フランジ付きナイロンロックナット（2ヶ）を使用して、①パニアホルダー（左右）に③リアブリッジを仮組みします。（図 7 参照）

※. この手順 17～18 の段階では、各部品は必ず仮組みとしてください。早計に本締めすると、以降の作業に支障をきたす原因となります。

19. 車体を水平にした状態で手順 4～11、17～18 で仮組みした各部品の取り付け位置を適宜微調整し、問題なければ各部を均等に締め付け、最終的に規定トルク（M6：10N・m、M8：20N・m）で本締めします。

※. ⑭フランジ付きナイロンロックナットは、締め付けが一度固くなったところ（ボルトの先端がロックナイロンに掛かり始めたところ）からさらに締め付けてください。締め付けが不適切だと部品破損・脱落の原因となります。

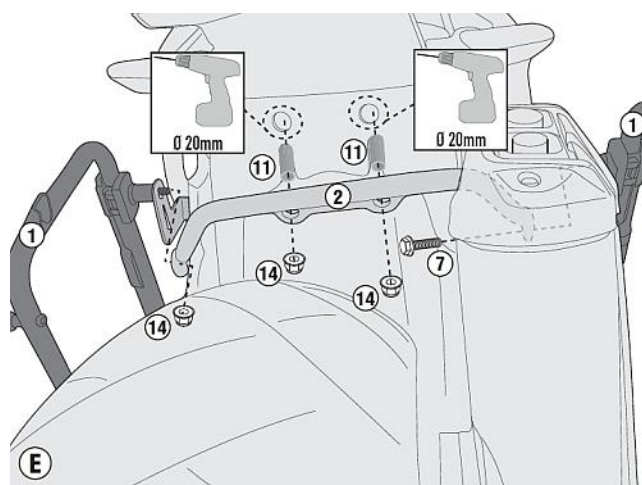


図 6

&lt;前ページより重複掲載&gt;

20. 手順 1～2 とは逆の手順で、純正タンデムシートとライダーシートを元通り車体に組み付けます。

21. 使用する GIVI OBK サイドケース（別売り）付属の取扱説明書を参照し、使用上の問題（特に以下）がないことを十分確認します。

- ◎左右何れのサイドケースにおいても、所定の操作で着脱、施錠・解除が問題なくできること
- ◎ケース着脱時何れにおいても、サイドケースならびに組み付けた各部品に何ら異常がないこと

※. 個体差により、①パニアホルダー（左右）の組み付けに歪みが生じ、サイドケースの着脱が困難となる場合は、手順 19 で本締めした各部品を再度仮組み状態に戻し、手順 18（仮組みした各部品の取り付け位置の微調整）から作業を見直してください。

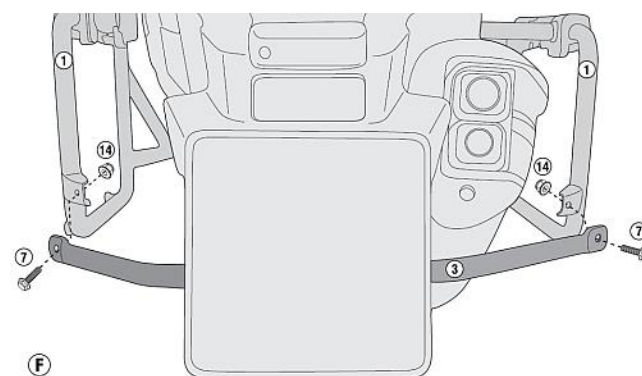


図 7

22. 問題なければ作業は完了です。

## 定期メンテナンスのお願い

※. この商品は記載された適応車種のノーマル車体（無事故車）にて取り付け確認を行っております。ノーマル車体部品とは異なる部品（特に前後サスペンションや前後ホイールなど）を同時装着して走行使用されますと、振動増加などによる負荷が高まり、この商品のステアが破損するなど予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）が発生する場合があります。お客様の自己責任にてノーマル車体部品とは異なる部品を同時装着して走行使用される場合は、この商品のステアや車体取り付け各部に異常が発生していないかどうか、日々の点検整備やメンテナンスを必ず欠かさず行なってください。

※. 雨天走行時や洗車時、走行・保管環境によっては、この商品のステアやボルト類、車体取り付け各部に汚れや水分、塩分などがたまってしまう場合があります。そのまま放置するとサビが進行し、ステア破損など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。必ず定期的に商品や車体の状態確認を行ない、汚れや水分、塩分などがたまっている場合は速やかに取り除き、防錆処理を適宜行なってください。

## その他

※. 個体差により組み付けクリアランスが狭い（狭くなる）箇所へは、必ずあらかじめ保護テープなどを貼り付けてからご使用ください。

※. この商品および指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化（サビ含む）が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備（汚れや水分、塩分などがたまりやすい箇所や金属溶接部周辺などは特に念入りに行ない、異常があれば適宜新品交換）を行なってください。素材の経年変化や使用損耗より発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

※. 立ちゴケや転倒などにより車体や本品（指定同時装着品含む）にダメージを与えた場合は、安全な場所にて各部の点検整備（部品連結箇所や金属溶接部周辺などは特に念入りに行ない、異常があれば適宜新品交換）を必ず行なってください。変形やクラックなどの異常に気が付かず継続走行使用すると、脱着作業に不備が生じたり、部品破損・脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）が発生する原因となります。商品自体に瑕疵がなく発生したこれら不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

東証JASDAQ上場

株式会社

**デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。 デイトナ商品についてのご質問、ご意見は

0120-60-4955 まで。営業時間：平日 午前9:00～午後6:00

URL 総合 <http://www.daytona.co.jp/>

G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>